

平成 28 年 12 月 21 日 (水)

第 25 回 職業能力開発研究会記録

1. 開催日時、場所

日時：平成 28 年 12 月 21 日 (水) 16:15～17:20

場所：職業能力開発総合大学校 3 号館 1 階 階段教室

2. 発表者、参加者数

16:15～17:00 テーマ 1

講演題目：「基盤整備センターにおける Web を活用した職業訓練に関するテーマについて」

- (1) 「ICT を活用した指導技法・技能向上システムに関する調査研究」
- (2) 「基礎学力向上に向けた学習教材の開発について」
- (3) 「e ラーニングを活用した離職者訓練の可能性の調査」

発表者：基盤整備センター 垣本開発部長

17:00～17:20 テーマ 2

講演題目：「大学とポリテクニク」

発表者：圓川校長

参加者数：60 名

3. 配布資料

講義用パワーポイントのスライドのコピー

4. 講演の概要

テーマ 1 「基盤整備センターにおける Web を活用した職業訓練に関するテーマについて」

(1) ICT を活用した指導技法・技能向上システムに関する調査研究

(背景)

- ・指導員業務の多忙化、暗黙知の伝授が困難

(解決策)

- ・ICT を利活用した新たな指導技法・技能向上システムの構築、コンテンツの配信や指導員同士の情報交換の場を提供する ICT を利活用した参加型コミュニティ・ネットワークの構築

(実施内容の詳細)

- ・キングソフト社「WowTalk」による参加型コミュニティ・ネットワークの構築
- ・交流掲示板、情報提供によるコミュニケーションの活性化

(今後について)

- ・試行検証（訓練施設 9 施設、対象指導員約 170 名、試行期間 1 ヶ月）

(2) 基礎学力向上に向けた学習教材の開発について

(背景)

- ・大学校のカリキュラムについていけない学生の増加

(解決策)

- ・ Web 教材を開発して訓練生の習得率を向上

(実施内容の詳細)

- ・ 279 問のテストを作成（「基本共通問題」「専門分野問題」）
- ・ 学習者アンケート（315 名）、担当者アンケート（18 名）

(結論)

- ・ 学習者の時間・場所の制約の緩和
- ・ 自動採点機能による即時フィードバック
- ・ 学習状況の把握

(3) e ラーニング等を活用した離職者訓練の可能性の調査研究

(背景)

- ・ 少子化に伴う労働人口の減少
- ・ 企業における人材確保
- ・ 多様な働き方（地域の特性と制約、女性の活躍）

(解決策)

- ・ 課題を検証して e ラーニング離職者訓練のモデルを検討

(実施内容の詳細)

- ・ 民間など e ラーニングの事例調査（ヒアリング）
- ・ アンケート調査（9 名）

(結論)

- ・ e ラーニング離職者訓練の試行的実施のための要件
- ・ カリキュラム概要（案）の作成
- ・ 訓練カリキュラム（案）の作成

テーマ2「大学とポリテクニク」

世界におけるアカデミックな世界の変遷から職業能力開発総合大学校の愛称として、PTU がふさわしいのではないかとのご発表であった。世界におけるアカデミックな世界の変遷として、下記のことを述べられた。

- ・ UNIVERSITY の語源は利害を同じくする学生（や教師）の組合団体にあり。
- ・ 今日のように専門学校を大学の下に置いてしまう発想は 18 世紀にはなかった。
- ・ エコール・ポリテクニクは、科学と技術を結び付け、技術に合理的な基礎を与えるために自然科学と数学を取り入れた。
- ・ 1876 年アメリカでジョンズ・ホプキンス大学が置かれ大学院の発明があった。
- ・ 工科系大学の誕生は 19 世紀になってからである。
- ・ 著しく高いアメリカにおける Polytechnic Designation について

4. 質疑応答

テーマ1:「基盤整備センターにおける Web を活用した職業訓練に関するテーマについて」

Q. 座学を e ラーニングで学ぶことは多いが、実技を伴う技能を e ラーニングでどのように教えていく

かをお教えてください。(小野寺先生)

A. 技能はビデオにより公開している。また掲示板は双方向性なので技能に対する書き込みもできる。

テーマ2:「大学とポリテクニク」

質疑応答なし

以上